『はばたき』興本扇学園だよりNo.2

興本扇学園 校長　稲葉　守朗　令和４年５月２日
ホームページアドレス http://www.adachi.ed.jp/adokim/index.ht

幸せになるために

校長　稲葉　守朗

校長室で担任の先生を待っていた転入生のＡさんと雑談をしていたときのことです。Ａさんから「校長先生は、何で校長先生になったんですか」と聞かれました。私は、管理職選考試験を受けるきっかけとなった先輩教員との出会いについて話をしました。そして、読書が趣味と話していたＡさんに、卒業式で話した原稿を手渡しました。Ａさんは、一字一字をしっかりかみしめるようにして読んでいました。その姿を見ていて、うれしさとともに、身の引き締まる思いがしました。別れ際に、「うちの学園のテーマは、『幸せになるために』なんです。私が教師、そして校長になった理由は、『みんなに幸せになってほしいから』かな。」と話しました。Ａさんは、微笑み、うなずいていました。

４月号では、中学校の卒業式の式辞を紹介しました。今回は、興本小学校の卒業式で「幸せになるためには」をテーマとして話した「３人のレンガ職人」について紹介いたします。

世界中を旅している青年がいました。多くの人が行き交う、にぎやかな町を歩いていました。ふと見ると、レンガ職人が険しい顔をしてレンガを積んでいました。青年は心配して職人に声をかけました。青年：「何だかつらそうですね」職人Ａ：「親方に命令され、来る日も来る日も、一日中こうしてレンガを積んでいるんだ。首や腰も痛くなるし、疲れるだけだよ」と言って、職人はため息をつきました。青年：「毎日、きつい仕事をしているんですね。かわいそうに。どうぞ、お体を大切にしてください。」と言葉をかけ、歩き出しました。しばらく歩いていると、別の町に着きました。この町にも、一生懸命レンガを積んでいる職人がいました。青年は、先ほどのレンガ職人を思い出し、いたわりの言葉をかけました。青年：「大変そうですね」職人Ｂ：「たしかに大変だけど、何てことないよ。」職人は、積み上げられたレンガの壁を見て微笑みました。職人Ｂ：「この仕事のおかげで、食べ物にも困らず、家族を養うことができるんだ。仕事があるだけでもありがたいよ。」青年：「あなたは、家族のためにがんばっているのですね。どうかお元気で」とあいさつし、また歩き出しました。さらに歩いていると、大きな広場に出ました。また、別の職人が楽しそうにレンガを積んでいました。青年：「ここで何をつくっているのですか」職人Ｃ：「俺は今、仲間と一緒に大聖堂をつくっているんだ。歴史に残る偉大な大聖堂をね」青年：「それは大変ですね」職人Ｃ：「いや、大変だなんてとんでもない。大聖堂ができれば多くの人々が祝福を受け、苦しみや悲しみを払うことができるんだ。そんな仕事に就けるなんて、俺は幸せ者だよ」と誇らしげに話しました。青年：「あなたたちは、やりがいのある仕事をしているのですね。人々のために、偉大な大聖堂をつくってください。」と言葉をかけ、旅を続けました。私は、自分自身の中に、３人のレンガ職人がいるように思いました。自分の仕事に誇りをもって働いている職人のように、何事にも夢や希望をもって取り組めたら幸せですね。（終）

４月のスタート時には、複数の教職員が自宅療養のため出勤できない状況となり、ご心配をおかけしました。新学期が始まる大切な時期に、担任不在の学級もありましたが、児童・生徒は、落ち着いて学校生活を送ってくれました。大型連休後は、運動会の練習が本格的に始まります。今年度も、東西別実施となりますが、保護者に参観していただく形式で計画しています。また、宿泊行事も２泊３日での実施となります。引き続き、健康管理へのご協力をお願いいたします。

令和４年　５月　行事予定

５月	曜	共通	東校舎	西校舎
１日	日			
２日	月			
３日	火	憲法記念日		
４日	水	みどりの日		
５日	木	こどもの日		
６日	金			夏服期間始（中）
７日	土	土曜授業	花の苗植え（４年）	花の苗植え（８・９年） 部活動保護者会
８日	日			
９日	月		朝礼 委員会	朝礼　専門委員会 運動会特別時間割始
１０日	火	安全指導		内科（７年）
１１日	水		眼科検診（１～４年）	４時間授業（中） 眼科検診（５・６年）
１２日	木		心臓検診（１年）	心臓検診（７年）
１３日	金	尿検査二次		
１４日	土			
１５日	日			
１６日	月		運動会特別時間割始	生徒会朝礼　運動会係会
１７日	火	尿検査二次追加		
１８日	水	４時間授業（小）		
１９日	木	避難訓練	内科（３・４年）	
２０日	金			都調査６年 魚沼保護者説明会 運動会全体練習
２１日	土			
２２日	日			
２３日	月		交通安全指導（１年）	都調査（９年） 教育実習始（中） 係会
２４日	火			
２５日	水			運動会予行　係会
２６日	木			
２７日	金			運動会前日準備
２８日	土			運動会
２９日	日			
３０日	月			振替休業日
３１日	火			

１年生の窓

担当：黒田　元樹

入学式から約１か月が経とうとしています。朝の支度と掃除は４年生が手伝ってくれていますが、自分たちでだいぶできるようになってきました。５月からは、手伝いなしでできそうです。
授業では、姿勢と鉛筆の持ち方に気を付け、ひらがなの練習を頑張っています。少しずつ書ける字が増え、とても嬉しそうです。
休み時間には、外で元気よく遊具で遊んだり、友達とおにごっこをしたりして、とても楽しそうに過ごしています。
４月 26 日は２年生と、「学校探検」を行い、東校舎の中を案内してもらいました。初めて入る教室にドキドキしながら楽しく交流することができました。お兄さんお姉さんたちに色々教えてもらいながら、楽しく学園生活を送っています。

１年生を迎える会

担当：工藤　健太

４月 16 日（土）に「１年生を迎える会」が行われました。昨年度と同様に東校舎の 1 年生の教室で、児童生徒会を中心に行いました。学校紹介、クイズ、２年生～５年生による歌のプレゼントや６年生～９年生の校歌紹介では、ICT 機器を活用して発表し、１年生を楽しませてくれました。最後に６年生が作ってくれたメダルを４年生から首にかけてもらったときの、１年生の嬉しそうな表情がとても印象的でした。いつかまた、全員が一堂に会して「１年生を迎える会」を行いたいと改めて感じられる温かい会になりました。今年度は丸付けボランティアや絵本の読み聞かせなどの交流学習を楽しみにしています。

７年生の窓

担当：梶間　真穂

「中学生になったら、新たなスタートだ！」という気持ちをもって入学し、約３週間がたちました。76 名でスタートした７年生です。どの授業も真剣に行い、一人一人が自覚をもった行動を心がけて学校生活を送ることが出来ています。４月最初に行った学年集会では、「自分も相手も大切にしてほしい。」ということをメインにお話しし、学年スローガンである Believe Yourself を発表しました。これから困難に立ち向かうことも出てくることでしょう。そんなときも、自分の無限の可能性を信じて行動すること。そして自分が何かに打ち込みたい、頑張りたいと思う気持ちをないがしろにしないこと。必要に応じて、自分から要望を出すこと。そんなことも自分を大切にする行動になるというお話をさせてもらいました。どんなときも自分の気持ちに寄り添いながら、学習だけでなく、自分の興味を広げるためにたくさんの人に会って経験をし、心でしっかり感じてほしいと思っています。
また、７年生の国際では年間を通して講師の先生と「音と言葉で勇気づけ 夢を叶える授業」を行います。心についての学習を深め、さらなる飛躍と活躍を期待しています。

部活動オリエンテーション

担当： 髙橋　宏典

４月 18 日（月）に、「部活動オリエンテーション」が行われました。今年度も昨年度と同様に、発表者が体育館で実演している様子を生徒会本部役員が撮影し、オンラインで各教室に生中継する形で紹介しました。新年度が始まってからの準備期間が短い中で、各部活動の部員たちはよく準備し、充実した発表を行ってくれました。また、運営を担当した生徒会本部役員は、昨年度の経験が生かされていて、リハーサルの段階からとてもスムーズに進行し、司会・撮影もしっかりとやり遂げ、この会を成功させてくれました。

仮入部期間が４月 28 日（木）で終わり、５月からは本入部となり、既に入部している人と同じような部活動がスタートします。感染症予防対策に努めながら、興本扇学園の部活動を皆で盛り上げていきましょう。

はたらく消防の写生会

担当：東　満里奈

４月 25 日（月）に、１・２年生の「はたらく消防の写生会」を行いました。子供たちは、校庭に並んだ消防車を見て、「かっこいい！」と目を輝かせていました。校庭にシートを広げ、クレパスを使って、画用紙いっぱいに消防車を描いた子供たち。消防車についているホースや、「東京消防庁」の文字まで、じっくり見つめる姿や、「赤いクレパスがこんなに短くなっちゃった！」と、笑いながら話している様子から、一生懸命さが伝わってきました。

～図書担当の窓～

東校舎担当：安村　龍太

今年度も本の貸し出しが始まり、中休みや昼休みになると、図書室に子供たちがたくさん来てくれています。東校舎の１年生から４年生は、１年間で 50 冊本を読むことを目標に取り組んでいます。読書は、想像力が豊かになり、また、語彙力も増え、心の栄養になります。

読書活動が一層活発になるよう、興本扇学園では年間２回の読書旬間、先生方による読み聞かせ、おすすめの本紹介などの取り組みをしていきます。読書活動は、子供のたちの成長にとって欠かせないとても大切なものです。ご家庭でも一緒に図書館へ行ってみたり、「どんな本を読んでいるの？」など、話題にしたりしていただければと思います。